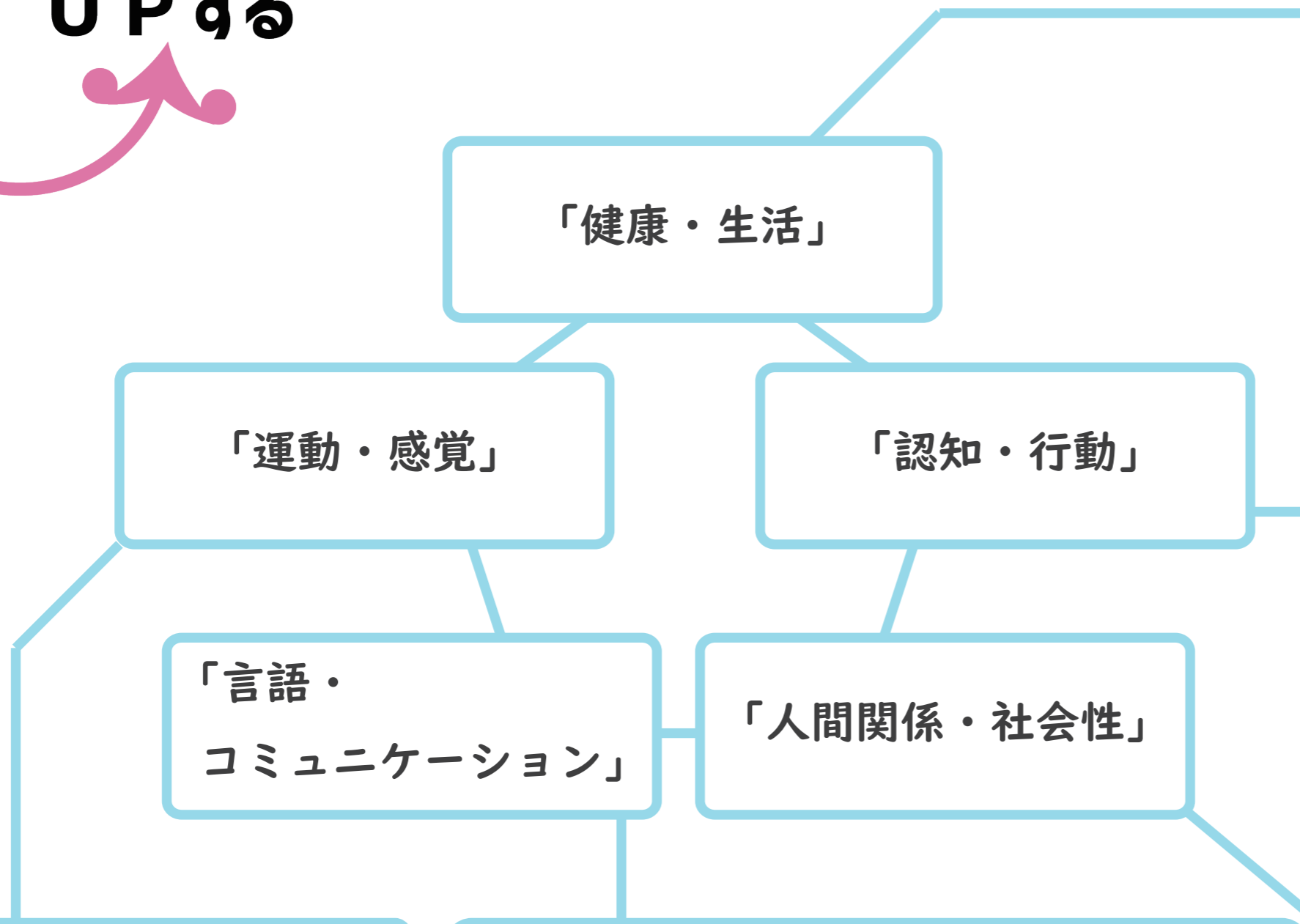


自立支援 UPする

5 領域と療育プログラム関係性



「健康・生活」

- ・来所時、毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する。意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう気を付ける。
- ・保護者と連帯をし、本人の基本的な生活スキル（睡眠、食事、排泄等）の習得の支援を行う。
- ・TPOに合わせた挨拶や行動がとれるように、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う
- ・準備や支度の過程において、持ち物（忘れ物対策）の確認や気持ちの切替が柔軟に行えるように支援を行う。

SST

「認知・行動」

- ・ビジョントレーニングを通して、視覚から行動への認知過程の発達を促し、感覚や認知の偏りの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。
- ・カードトレーニングを通して、視覚からの瞬間的な情報収集の習得、モノやカタチとしての知識の習得の支援を行う。
- ・工作関連のワークショップを通して、数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。
- ・プログラミングを通して論理的思考力や発想力を養えるように支援を行う。

ビジョントレーニング カード SST

「運動・感覚」

ビジョントレーニング

- ・ビジョントレーニングを通して、身体全体の感覚や体幹の強化及び視野角からの状況把握や空間把握の向上を図る。
- ・ボール遊びや跳び箱等の身体を使っでの遊びや運動
- ・声の大きさや音が出るモノや行為に対して、他者への配慮するように声掛けを行う。

「言語・コミュニケーション」

SST

- ・集団での協同遊びや集団活動を通じて、コミュニケーション能力の向上のための支援を行う。
- ・自身の見聞きしたことや体験した事を第三者に伝えることで、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。
- ・大人としか話さない子に対して、間に入るなど子ども同士で話せるように促していく。
- ・対人関係において、一方的にならぬよう、話を聞く力や相手の気持ちも考えられるように支援を行う。
- ・英語学習を通して異文化社会への理解と興味・関心が持てるよう支援を行う。

「人間関係・社会性」

SST

- ・ドッチボールや鬼ごっこ等の集団での遊びを通じて、手順やルールを理解し、協同遊びや集団活動に参加できるよう徐々に社会性の発達を支援する。
- ・ゲームや遊び、パソコン操作でわからない事など、子ども同士でアドバイスできるように声掛けを行う。
- ・集団活動の中で自分のルールを通そうとする子に対して協調性を持ってもらえるように促していく。
- ・スタッフとの信頼関係形成を通じて、「人との関係性」を意識し、それを基盤として周囲との安定した関係を形成するための支援を行う。